# 大 学 院

ある。

## ◇解答者総: 担当 数 32 風みどり 名

至

◇全題正 解者 22 名

①若島 ②上田吉一 1123502.82 正 2 7 18 4 誤無ABC平均 -2.82

飛成、 52香成、

同玉、

44香、43飛合

☆同とだと78馬の筋が使えな

玉 31

97馬以下。

61

代わりに36金、

44 飛成 玉で

打歩詰。

しかし先の42

## **◇院** 箕面市 入選66回 若島 正

三三四四 五六 t 八

9 8 7 6 5 4 3 2 1 型 銀 掰 銀爭飛爭爭 馬 金 香王 **北**金 歩爭样 雅 銀 歩 科 لے 金王 7 點 金 馬 歩

駒

な

☆作

意を並べただけで作者の

九

# 14龍

途中図1 5 4 3 2 8 7 6 9 銀 掰 拝 型 銀爭飛爭爭 馬

香

王

歩

金王

香

7

鄒

歩合と同様に進めると……

変化図1

委

馬

持 駒 **歌** 歩爭桂 な 卦

方応用香先香歩」。これが

☆ 59

香のココロは何

か。

43 玉

想いが伝わってくる作品 み込む必要がある作品もあ 変化と紛れの森に踏 わ いかる。

☆33香合は同香成、 ☆44 飛という手もあるが、 13飛成は順当だろう。 54玉で後続手がない。 42 飛生、43 歩合、 同歩、 初手 45 歩、 42 同 然なのだ。 78馬から34馬がある。 42飛成、43歩合、45 32銀生、 利きを作るために同とが必

☆4玉と逃げるのが正解らし 対しては14龍しかない。 三三四五 六 t 八 九

1 龍 銀 7 لح 金

歩 ☆すると24の合駒は香車 62飛成迄。 歩は回避できて、45歩、53 を42飛生に修正すれば、

玉 打

☆42飛生としても55香が強く 打歩詰が解消できない 歩合できる所であえて強い である香を合駒する 玉 !

9 8

拝

ŧ ☆少し読むと24合、 とという展開になることが 仮に24歩合として 同 口

1

同龍、 同銀だと55歩、 43 至

### 34 に 玉 玉

同銀、

44 歩、

同

失敗図1 44玉

歩、

同

	9	8	7	6	5	4	3	2
	科		季					
持駒	馬		銀	#		飛	掰	
駒	#	金	歪		香	#		
ı.	歩	#	桂			王		7
歩				歩	香		香	
	拝		金	王			金	ع
						鄒		
		馬					歩	
								_

作意だろうか。

☆24 香合の場合は59 香と打つ 0 が妙手だ。

3	7	6	5	4	3	2	1	
	季			銀爭		艇		-
	銀要	#	飛	#	#			=
F	委		香					Ξ
f	桂		王			7		兀
		歩			香って		掰	Ŧ
	金	王			7	と		ナ
				執		金		t
Ę					歩			Л
			香					力

か

59香

馬 持駒 4 歩当 罫

四

Ŧi 鍡

六

七

八

同玉 な ら 32 42 飛 銀 生 成、 43 同 歩合、 銀 44 45歩

ある。

飛と打つ事になり、

るのである。

復習しておこ

これで意味が判明する。 同玉 つ56に王を移動させる狙い 馬の利きを塞がず、 傘 44 至 なおか 56

☆されば、そうはさせじと55 以下、88桂成、 45金迄。

歩合という手がありそうだ。

の差。 い。32銀と歩を補充せずに 同香で先の失敗図とは1歩 しかしこの差が大き

42飛成、43歩合、45歩、同玉、 攻められるので、4歩、同玉 24銀

43 龍、 44 歩合、36金迄だ。

☆では56 王を拒否する57 歩合 成桂で持駒の変換が成立す はどうか。これは同香、 と同じ42飛生で解決する。 すなわち24歩合の変化

途中図2

☆そこであくまで歩は渡さな 持

いという57飛合という手が

☆作者の狙いはここから始ま

この手には「玉方応用金先

☆44歩でなく45飛とぼんやり 同玉 歩が打歩詰だ。 玉 に 32 42 飛生では、 銀生、 同 次 の 45 44 歩、

ともどる玉に55歩と打てる 香しかないので簡単。 攻めるのが好手で、 合駒は 54 玉

☆では作意は? そう、 とここまではすべて変化な ので大丈夫だ。 のだ。正解は4手目24 なん 銀

三三四 音響 Ŧi. マ と 六七八 金 歩 九

同歩、

同銀生、同金と持駒

利かさないように攻めつつ とする。そのココロは44

に

5 2 6 4 3 9 8 7 1 銀纸纸纸纸 型 銀 拝 銀 馬 駒 **北** 金 香 歩爭样 臣 な 步 拝 金王 蘇 馬

う。 43 玉、32 銀生、 < 銀先銀歩」というタグが 渡すこの応手は 同龍、 歩合ができる所で銀 同と、 同銀で打歩 「玉方応 55銀では 途中図3

#### 63同金 4 3 2

1

兀

五.

六

七八八

九

7

金

香って

歩

5

銀 鍡

半半

8 9 拝 新 要 持駒 歩 爭桂 なし  $\exists \forall$ 馬

☆同銀生、 攻める。 る為に64 わらない。 うご理解頂けたと思う。 たが、金と銀では状況は変 金歩」とタグがつく事は 同歩と金を入手し 他の駒を入手す 同 歩 81馬と

☆そこで55銀に代えて63銀打

97馬、44玉でどうしても打

も

歩詰である。

36 金、

54 玉、55 歩、

53 芙

42飛生、43歩合、45歩、同玉

詰だ。さらに44銀は

同  $\pm$ 

> 7 6

星

銀爭 新 **等**香

歩

金王

☆63合は同馬、 で簡単なので、 る一手だ。普通 同玉、 72 に合駒す なら一 62 飛成 番安

☆72飛合は同馬、 とはもうおわかりだろう。 い歩だが、そうならないこ 同香、55飛

☆歩を渡す事もできるのに敢

えて金を渡す狙い

の応手。

同金。

☆そこで応手は同歩ではなく

うことだ。

の銀を歩に変換しようとい

-23-

#### 途中図4 81馬

9 8 7 6 5 4 3 2 **科馬**星 掰 飛事等 **北**金 香 歩爭桂爭王 歩 香 拝 金王 7 金 馬 歩

持 駒 な

57 飛合 の変化とほ ぼ 口

☆

問題 う 詰 11 しまう。 香でまた持駒が銀 か。 ぎ 63銀と打てるので簡 では 72 55 それでは72 銀合だ。 金と打つしかない しかし先程とは違 金合はど K 同 戻 馬 単 5 に 7 同

様に詰

9

掛

持

駒

な

32

銀

生、 銀合なら

同

銀、

金、

金

ば63銀)、

43

玉

四

Ŧi.

六

t

八

九

飛

であっ

わけだから

「玉方応用飛先

渡せる所で飛車を提供する の応手につくタグは、

シタグは

玉

方応

飛生、

43 銀

打。

55 45 42

同

至

36

· 金、

歩、 歩、

53

至

62

飛成、

か。これ 銀で打歩 同玉 ☆同馬、 ☆56歩合は同香、45 ☆この応手の は 59 用香 43 44 11 11 が 角合、 う 玉 る 渡っているので、 のだ。 逆王手 香が好手だった。 先香歩」となる 54 同香で持駒香。 同 角 飛成、 以下。 0 筋が発生して 同玉、 玉、 42 玉方に角 44 角と 45 歩、 これ 飛 生

57

王と桂馬を入手する。

88

64

桂

成、

45歩で後は並

ベ

詩。

詰

では 不思

なかっ 32

たの

☆では桂馬を渡さない

金

一合はどうなるか。

百

香

43

至

銀

生

同

42 が

成、 45

43

歩合、 詰む。 44

Ξ

桂

成 飛

54

至

55歩以下。 56

☆ 57

金合は同香、

同

成

桂

55

同 同

銀

44 金、

同

玉

42 32

飛 銀

成

桂、

55 金、

43

至

☆かくして72 63 に穴ができてい 香打が定まる。 るの だ

=

兀

Ŧi.

六

t

八

九

途中図5 72香合 8 2 7 6 5 4 3 1 封 馬 星 升 銀 飛爭爭 曐 **歌** 香 歩爭桂爭 7 王 四 Ŧi. 步 六 金王 7 1 鄒 七 金 八 馬 歩

途中図6 59香 9 8 7 6 5 3 2 4 1 掛 銀 季 飛|新| 駒 张 金 香 加 歩| | 手| | 手| | 王 な 香って 歩 Ŧi. 拝 六 金王 t **金** 八 馬 歩 九 香

☆かくして作意上でも59

は 57

飛台

が最善となる。

歩を

に銀合だ。そこで銀合には 龍迄。ここで合駒する為 歩合では 54 44 玉 玉 57飛合

途中図7 5

8 4 3 2 9 7 6 1 罫 掰 飛爭爭 季 宝 金 香 歩爭桂爭王 7 歩 香 卦 金王 7 猻靎 金 馬 歩 香

な

· 為に 58 成 生 ☆これ 用 方応 た。「玉方応」 銀 で作者 先銀 用金先 歩 用 0 金 狙 飛  $\pm$ 步 11 方応 玉 飛 が完 歩 用 三玉 方 成

駒

たの

は

56

王 56

を拒 王,

Ĭ

歩

だった事を

思い

出 否 57

T せば I する に合

ょ

☆ここからは収束。作意を初 ☆このテーマの先行 13 飛成、 81 59 同龍 ある。 だったのだ 同 45 45 55 同 8 しくも余詰。つまり4 本 全て1局で実現した作品は 手を1局に詰め込んだが惜 番(近将1978年11 は七條兼三 で実現してし 先香歩」をすべて 銀生、 飛 馬 から一気に並 が初めてである。 57飛合、 可 同と、 至 玉 香打、 54 玉 同 玉 芼 歩、 42 43 63 銀 将棋墨酔 まおうと 飛成、 飛生、 同香、 36 64 金、 芙 銀 同 14 べておこう。 金 打 の不利 月号) 作とし 龍 1 88 44 43 同 局 54 桂成 銀合、 成 同歩、 同金、 24 銀、 種を 同香 0 桂 が そ 応 中 作者―上田さん曰く「 (A) A で 36 桂 72 銀生、 95 歩、 同香、 62 45 をい で作品 85 金右、 75 を不 作は 品は 換で歩に代えようとしたら、 54玉で逃れる。 0 いう実例 香先香歩で受けられた、 歩でくれた飛車を、 えるようになりました。 銀歩+金先金歩+飛先飛歩 頃 角、 歩、 利交換にいったら金先 できない っぺんにやるような作 から「香先香歩+ 83 銀先銀 同 82 にしたのですが に 53 74 53 同歩、 同玉、75 いはない 至 至 玉 玉 玉 玉なら詰 86 金打、 83 歩で貰っ かなあ」と考 73 角成、 63 54 95金迄33手。 桂 香、 ね」。それ 成 不利交 74 「飛先飛 73 63 むが、 . 歩合、 94 94 銀先 同 玉 玉 لح そ 玉 玉 玉 ☆確かに飛先飛歩で貰 な ばよ 駒が れば ら、 化 な 歩なら詰むが飛車では で受けられ を交換にい 種を実現させているとい である、 揃う間、 う後半をつなぎ合わせた構 せるし、 のが本局の主張です。 成になってい 先飛歩でい 香を不利交換 前 一歩で受けら と紛れをどう切り分け いという局 74種 良いわ 数多くはない 若島正をして ものやら想像 「香先香歩で 理解できる。 後手の54玉 変わるとな 場所を変えずに4 け たという作品 ったら、 けられた」とい ń だ。 面 て、 を創 · 4 種 が ったら飛 ると変 思い もつか また飛 つた飛 は とい か 0 語ま 持駒 が出 うった 心持 出 不動 'n せ 出 な う う 鈴木 今川 野 小 ☆詰将棋作家だと 国兼秀旗 林 作品 手 目 88 十分。 思う。 禁止」と決めたのは誰かと √, に窮余策の逆王手と玉方 П 変化も難解 ばかりで打歩詰に誘致して ŧ も め打歩誘致 感を得まし くるところが小 とストーリー て見応えがあ 彊 健 ースが見所満 賢治 な む です 一―最初に なるか 盤 桂成の局面はこれで 歩を呉れ、 打歩詰の 若島氏らしい奥深い 夢」と言 面 銀の移 ひたすら 全体 の不 た で心地良い疲労 なである。 思い は ŋ 攻防は迫力 勤 ゎ に関連して 載だった。 利合駒、 「打歩詰 憎らし まし 合をは 進 高い しめたの 17 . Þ ・ます。 む (合駒 41

更

36

和  $\coprod$ 11 登 4 麗 0 に収束する かなと思うが、 駒探しは 至福 0 外 時

池田 せる作 入手するまでのやり取 間 俊哉 作者の 特に前 力を感じ 半 36 とを ŋ Ú ž

須川卓二― 歩 (と) でよ 11 لح

面白

Ü

事です。 ころを銀を金を香を渡す後 手!打歩をめぐる好防が見

(A) 53

飛

54

飛合、

同

飛成、

☆このテーマを仮に「四 拓い 利応手」と呼んでみたい 0 空前の作品である。詰将棋 新しいカテゴリーを切り た作品となるだろう。 種

### **◇院** 京都 芾 入選77回 上田吉

58 56 56 56 54 百 飛 至 至 55 57 歩①55 歩回 同 同 玉 玉 玉

> 9 8 7 6 5 4 3 2 1 整醫爭 成桂 桂 銀星 四 角 王忠铎 Ŧi. 4 六 飛 程 显 t 王爵歩香 八 九

54 飛 55 飛合、 な 同 飛 同玉、

57 36 34 飛 飛 歩〇 飛 55 57 55 55 芼 芙 至 至 56 35 37 飛 35 飛 歩、 飛 56 54 56 同 至 至 至 至

54 34 58 58 飛 飛 飛 57 飛合、 56 55 飛合、 飛合、 同 同 同 飛 飛 同 銀生 同玉 同玉

53 54 43 飛 54 成 飛 飛 桂 成 55 飛合、66 62 玉 飛合、 同玉、 61 成香、 成柱、 53 飛 同 飛 同 同玉 同 銀成 同玉 玉

けられた錠を開かねばなら

合とされて詰まない

ろうが、

解決には

一重に掛

込

!む事ができる。 すんなり

てしまった方も多いだ

83 73 銀 香 左 62 成 至 玉 62 香 馬 同 同 玉 玉

龍馬 ①同銀生は67 4 同 79 56 玉 手。 銀 成 だは 66 45 角 迄 成 成 桂、 同 同 玉 桂 77 成 馬

同玉 □ 53 同玉、 同 龍、 玉は43香成、62玉、 55 51成桂以下。 玉 56香迄 61 成 香

(A) 58 公同銀生は同 56 至 飛は57角合で逃れ 66成桂以下。 飛、 同玉 46 銀

☆5筋に閉じ込められ ち飛合 がら自然に作品世界に入り 合駒の選択も易しい。 のリズムを楽しみな た玉。 飛打

73 62 銀 銀 成 同 61 至 至 95 72 馬 成銀左迄 71

12手目 7 6 5 4 3 2

途中図A 8 9 整爾爭

1 成桂 桂 銀 銀 事步 # 王 軽 星 王殿 香

☆その為に56玉に ☆ところがこ ☆メインの錠は59 けだ。 ある。 銀を移動させようというわ と攻める。 と77 成桂を片付ける必要が る95香を入手するには68 活用するかだ。 けられてい 持駒 る。 57 飛 飛 対し、 58 質 馬 飛に を如何 同銀生と 駒に見え 重 に 57 一に掛 58 飛 銀

な

11

四

Ŧi.

六

七

八

九

☆そこでこの 化伏線になっているという けて魔法のように35 一組みだ。 この手 順ブロックが変 局 面 から32 歩を消 手 か

> 坂研 57 角合の変化に備え

を捨て去っての

収束

かしてから更に3飛ー て35歩を消去し、68銀を動 54

の形で66成桂と捨てること 漸く 59 95のラインが 飛

貫通して収束に至るという ストーリーは十分に面白く、

44手目

4 3 2 1

四

Ŧi.

六

七

八

九

成桂

香

馬

途中図B

銀

報 歩

王遜

8 9

7 6 5 <u>馨</u> 審

解明する愉しみに溢れてい 全体を通して作品の構造を のお手本のようで、 纏め方もまさしく長編 流石は

上田さん

持 桂 飛

☆最後の鍵は77 タイミング。 飛合を予約 正解は55 成桂 を捨 してから 玉に てる

☆そして53飛や62馬と短編詰 66 たら桂合されるので当然な 将棋のように鮮やかに大駒 成桂と捨てる。先に捨て 巧いものだ。

れ

本当のエンターテイ

で詰ましてました。

ホッとした喜びを与えてく

原雅

彦

角合に気付かず51

和

田

草間準二― 角打ちを妨げる35

歩の配置が凄い。この歩の

た。 に打つ。ロジックや図形感 お陰で、 た事で本作は長篇作となっ この歩を消去 いやこの歩 を置い

覚が鋭い一方で、解き手に

メントだと思う。

兼

秀旗

どの変化も易しく、

鈴 芸術そのものです。 詰将棋の醍醐味十分。 木 ·彊 正

竹中健 決まっていました。 一一全て飛合だと思っ

うまく消すものですね、 心します! 感

水谷一―12手目の局面 に角合をさせないよう35 「から57 歩

小林徹 難しくないが面白 を消去して44手目の局 57角合に備えた35 11 趣向 窗 歩

斎藤博久— しくはないですが、 の消去がメインテーマ。難 飛による趣向 しめます 馬を世に出 には高級 十分楽 す為 手順 0

飛と龍による攻防 収束も は 41 自然に作者の意図 手 順

まれて、 した面

そうになります。あの歩を ていると角合をウッカリし ◇総評 凡骨生—飛(龍) 合8回にエレベーター くのが実に爽快である。 絡めてあり楽しめました。 へと吸い込

の王手に飛

中沢照夫—「盤上 物です。 ジア」「極光21」 の奥深さを教えてくれた宝 のファンタ は詰 将 棋

【全題正解者】

池田俊哉

大下

進

竹中健 須川 国兼秀旗 加賀孝志 卓二 鈴木 神谷 小林 徹 薫 日下 高沢武夫 斎藤博久 -通博 利

野口 三宅周治 賢治 宮本 福村 躑躅 慎 努 吉田 凡骨 永島 勝 生 清

1ヵ月分入帖

誌代